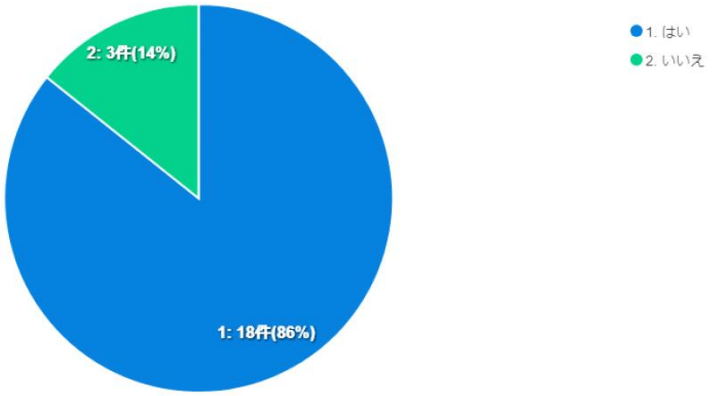
R6 児童発達支援センター自己評価（職員向け)集計結果

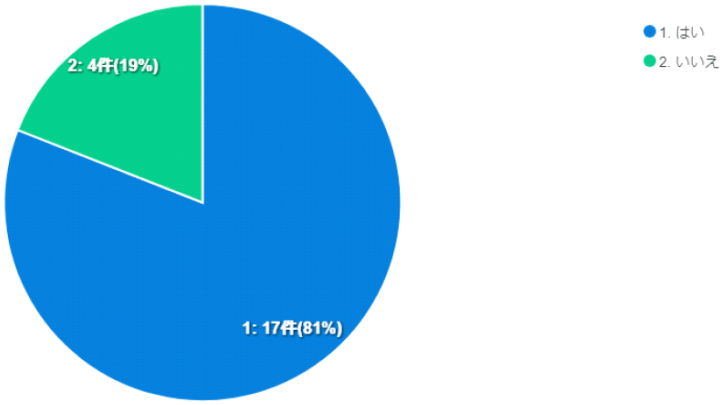
23人中21人の回答　回答率９１％

(環境・体制整備について)

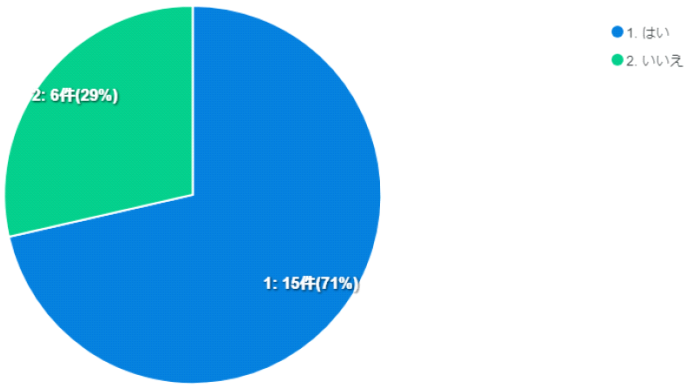
1:select　利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか



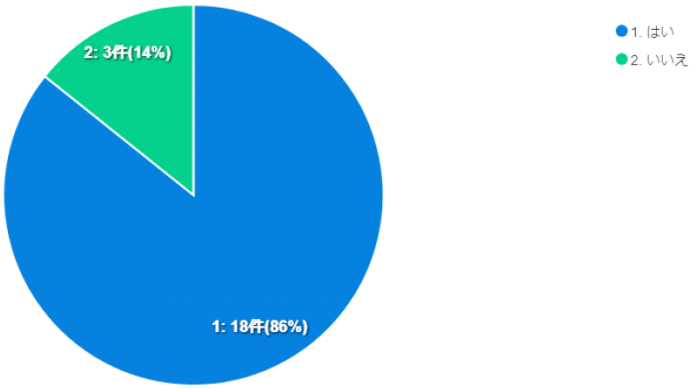
2:select　利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか



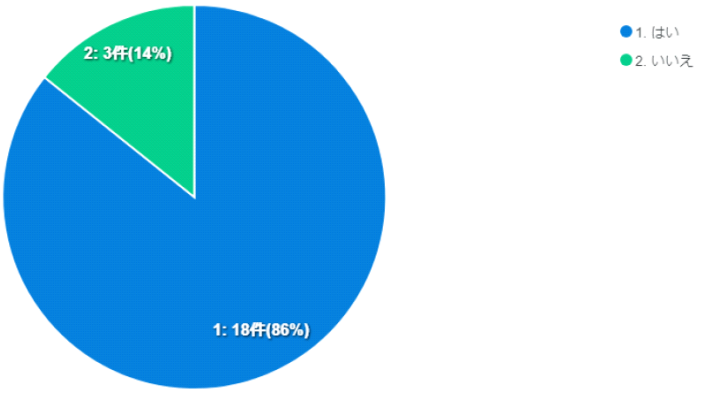
3:select　生活空間は、子どもにわかりやすく活動しやすい環境になっているか。また、センターの設備等は障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか



4:select　生活空間は清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思うか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっているか



5:select　必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか



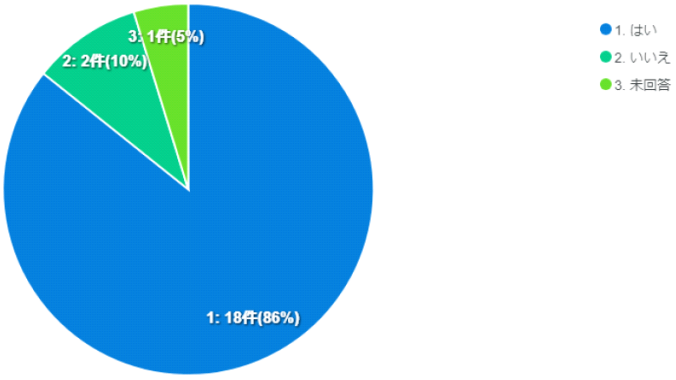
6:text　Q1～Q5の環境・体制整備に関して、工夫点や課題・改善点をお書きください

ご意見
手洗い場が使いにくいと思うことが多いです。
寒すぎる、暑すぎることがある。
古い建物なので段差や老朽化してささくれている木造部などがある。気づいたら適宜対応している。
利用する子どもたちの特性や体調に合わせて休息が取れる場所を確保しているので、安心して子どもが過ごせる施設だと思う。
古い施設ですが安全やバリアフリーを考え少しづつ修繕してくれていると思います。
古い建物のためトイレとかの環境が悪いと思います。 療育室のじゅうたんはかなり古く綺麗とは言えない。部屋のカーテンも綺麗ではない。 春休み、夏休み、冬休みの間にカーテンはクリーニングに出して欲しいです。

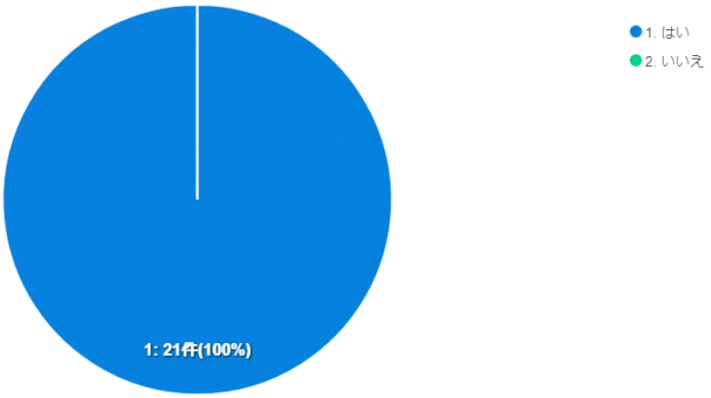
その日の出席人数にもよるが、部屋の大きさに対して手狭に感じられることがある。また、マンツーマンかそれ以上に人手が欲しいタイミングが合るが、なかなかそうならない現状がある。
衝立を用意したりとできる範囲で工夫している様子がみられる。
毎日きれいに掃除や消毒をして清潔に保てていると思います。
個別対応が必要な場合は、できる範囲で実施している。パーティション等を利用し個別対応への配慮をしている
建物の老朽化はあるが毎月の安全チェックで安全面や衛生面での課題を出し、気がついた点などがあったら改善できるように努めている。

（業務改善について）

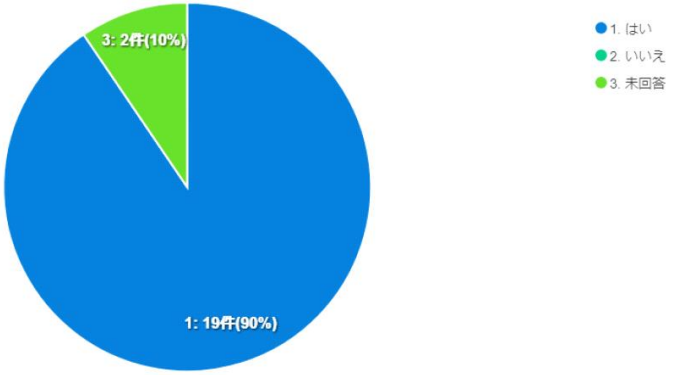
7:select　業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）を職員が共有しているか



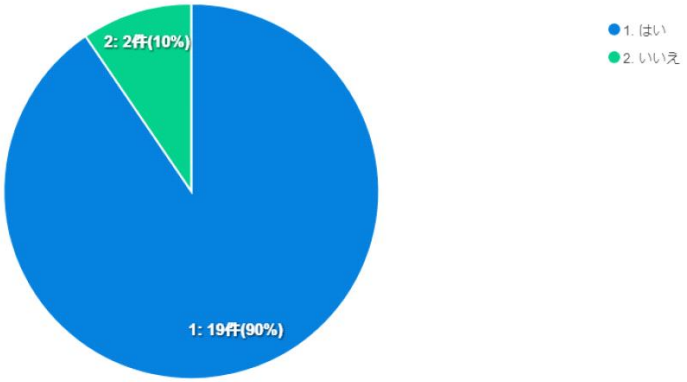
8:select　保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか



9:select　職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか



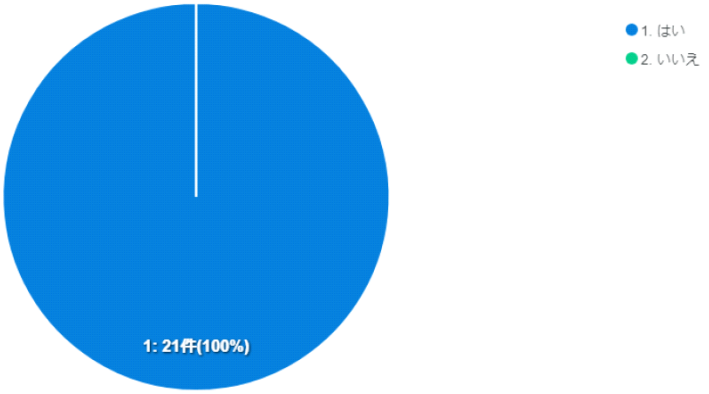
10:select　職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や研修を開催する機会が確保されているか



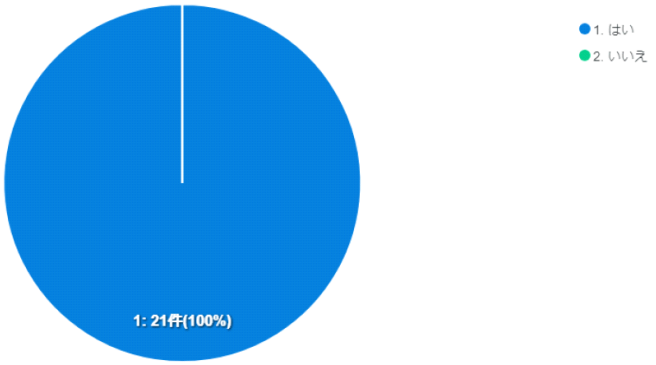
11:text　Q7～Q10の業務改善に関して、工夫点や課題・改善点をお書きください

ご意見
課題について職員間で話し合い改善につなげることができていると思います。研修については広く情報共有して必要な研修に参加できるようになっていました。
研修に出席できなかったのは自己責任ではあるのはわかってはいるがその内容を聞ける機会がほしい。
医療的ケアが必要な子どもがいるので、その子に関わる全ての職員向けに医療ケアの勉強会の開催を増やした方がいいと思う。医療職からの伝達だけでは限界があるのではないかと感じる。
多くの研修に参加し、専門性を高めている。
研修があるときは受けたいと思う。
業務がひとつの職種に偏らないように、担当者の見直しをしたり、簡素化できる部分を改善したり、気が付いた時には声に出せるような雰囲気をつくるようにしている。

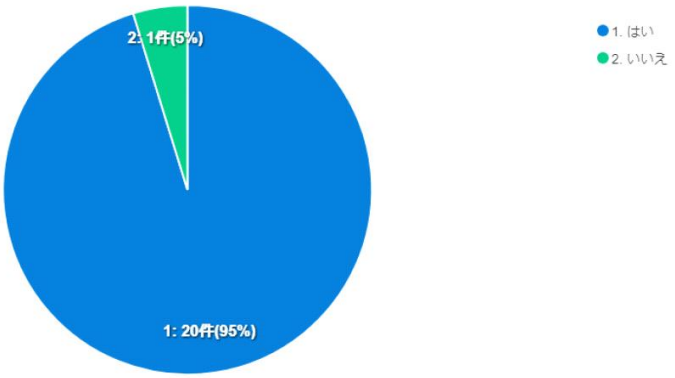
12:select （適切な支援の提供について）
適切に支援プログラム（通園のしおり等）が作成、公表されているか



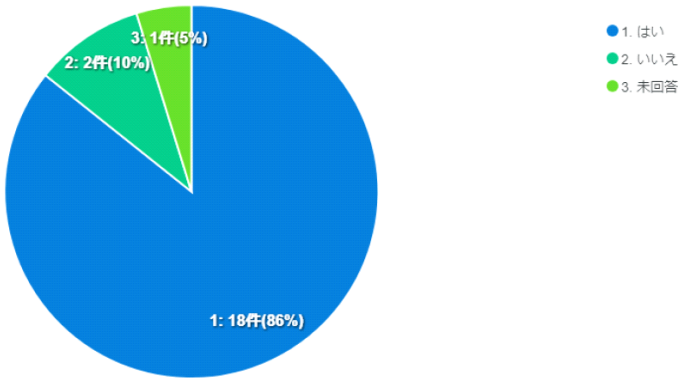
13:select 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか



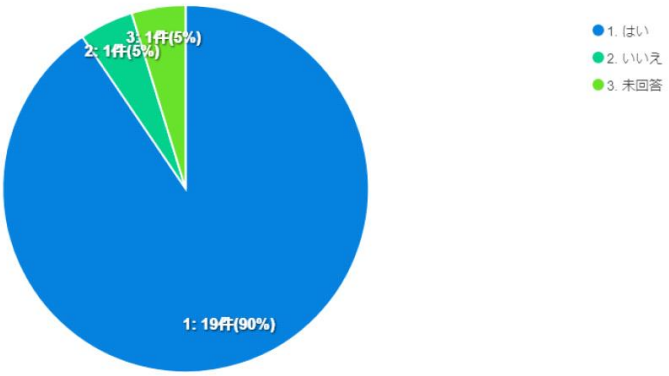
14:select 個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか



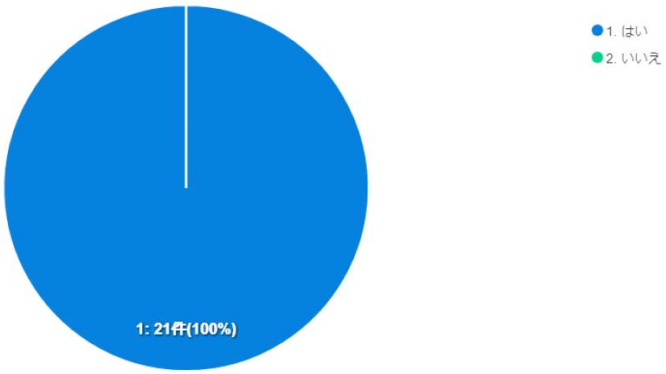
15:select　個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか



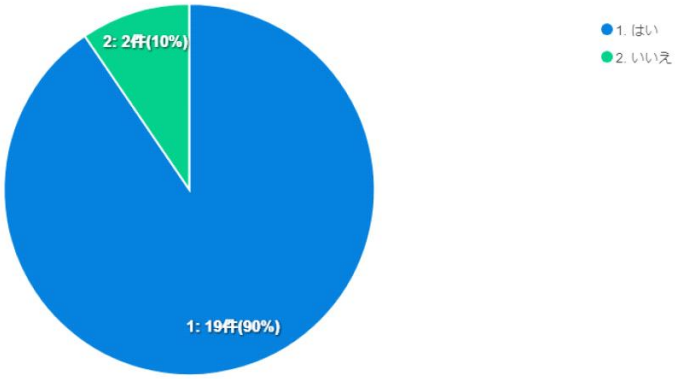
16:select　子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか



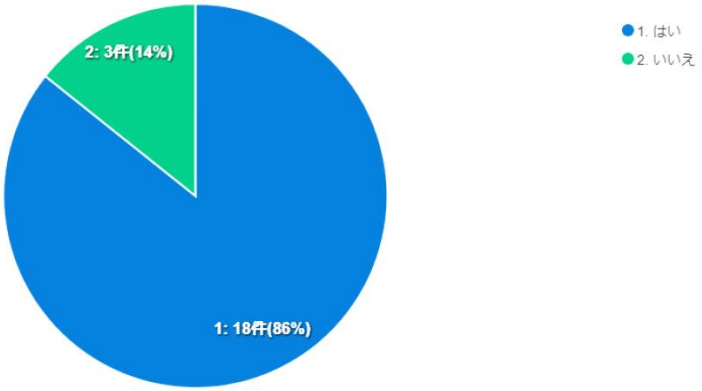
17:select　個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」、及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか



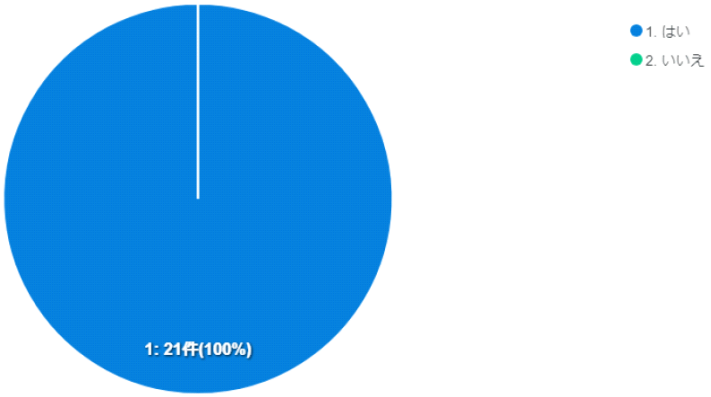
18:select　活動プログラムの立案をチームで行っているか



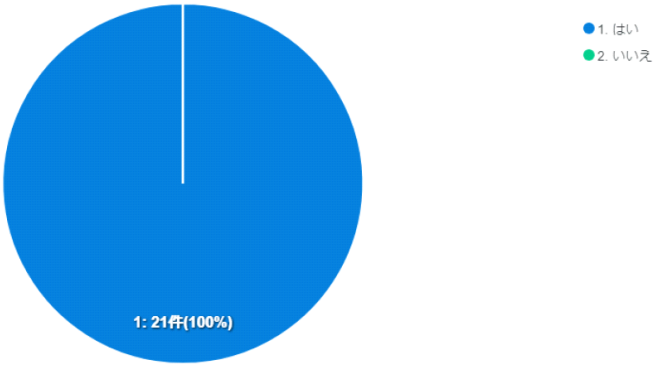
19:select　活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか



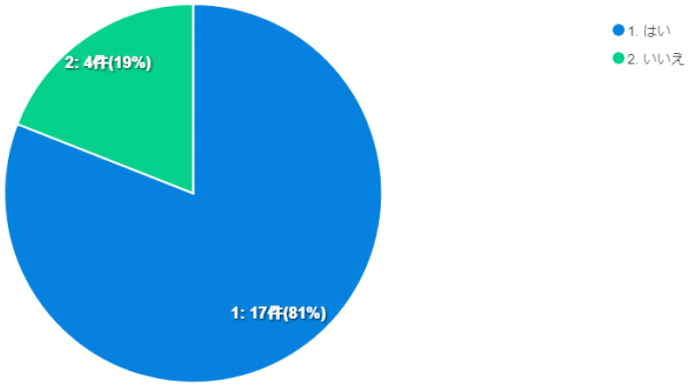
20:select　子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて個別支援計画を作成し、支援が行われているか



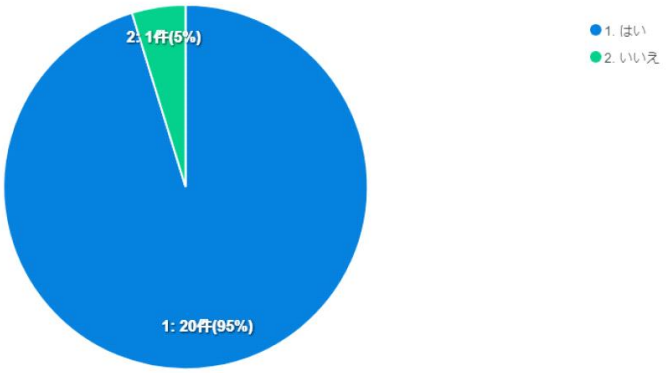
21:select　支援開始前には職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか



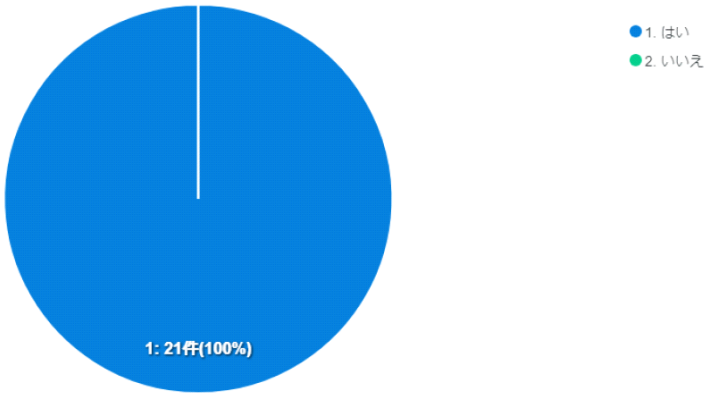
22:select 支援終了後には職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか



23:select 日々の支援に関して記録を取ること徹底し、支援の検証・改善につなげているか



24:select 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか



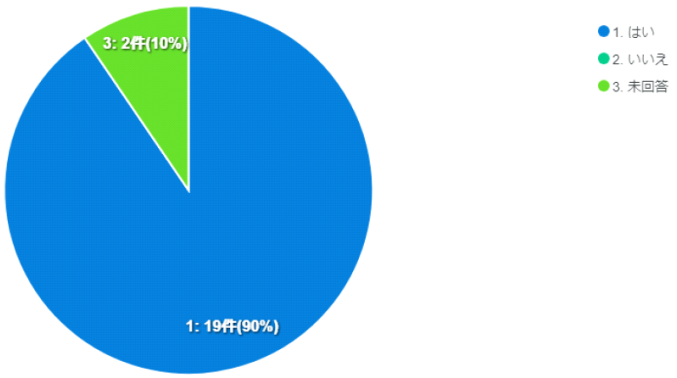
25:text Q12～Q24の適切な支援の提供に関して、工夫点や課題・改善点をお書きください

ご意見
研修やミーティングが多すぎる。大事な時に振り返りをやっていて本末転倒な事がある。子どもとの関わりにおいて非常勤が多くをしめるのに、その内容のフィードバックが遅い。

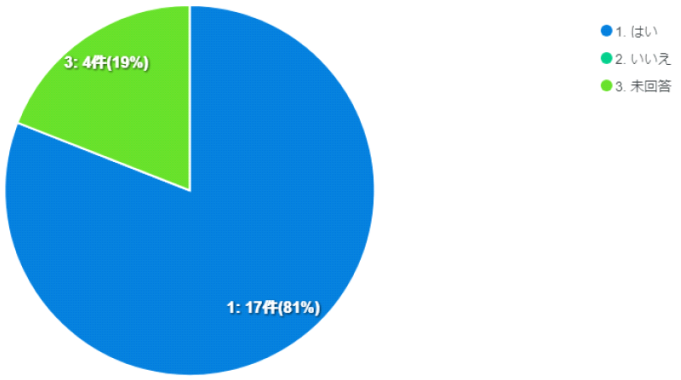
療育のプログラムをたてる時には担任だけでなく、支援に関わる他職種とも相談をしている。振り返りを実施していることで次回の療育に活かすことに繋がっていると感じている。
担当者会議やカンファレンスで全員で考え、共有している
療育前の打ち合わせを行うことで子どもの体調や配慮事項など共有できるようになっていると思います。 活動のねらいや目的も共有できるようにするとより良くなると思います。
個別支援計画や活動についての打ち合わせ等多くの時間が取れない中でも、非常勤職員も含め関わる職員が参加し情報共有や打ち合わせを実施していた。できればもっと時間があった方が良いが、職員が同じ方向を向いて支援する意識が持てたと思う。
支援終了後の振り返りは、その日支援した職員全員で行うことは出来ていない。 日々振り返り、記録して積み重ねることで支援の質は上がっていくと思う。
Q22は、会計年度短時間任用職員は時間的制約があり、あまりできていない。
情報共有

（関係機関や保護者との連携について）

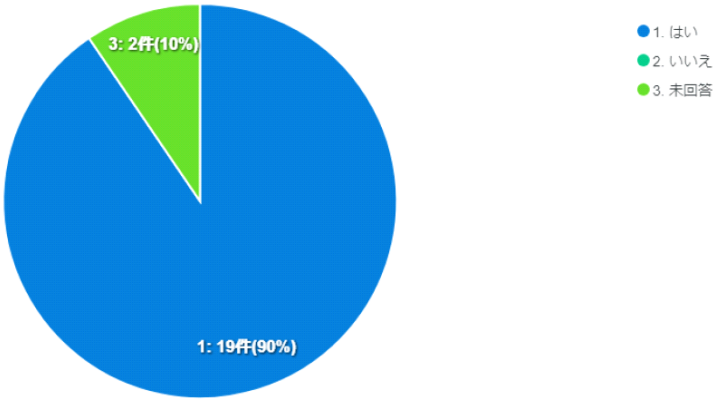
26:select　障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した上で参画しているか



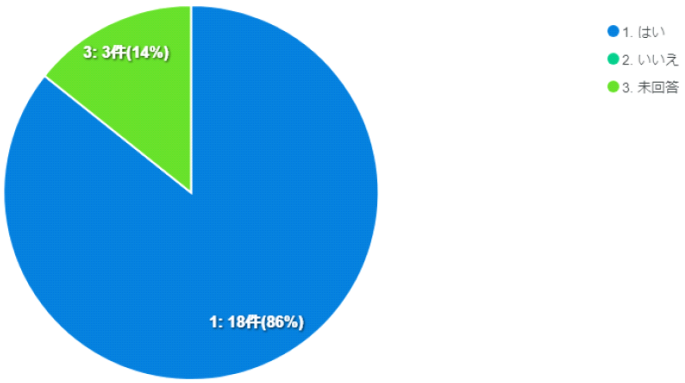
27:select　地域の保健・医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか



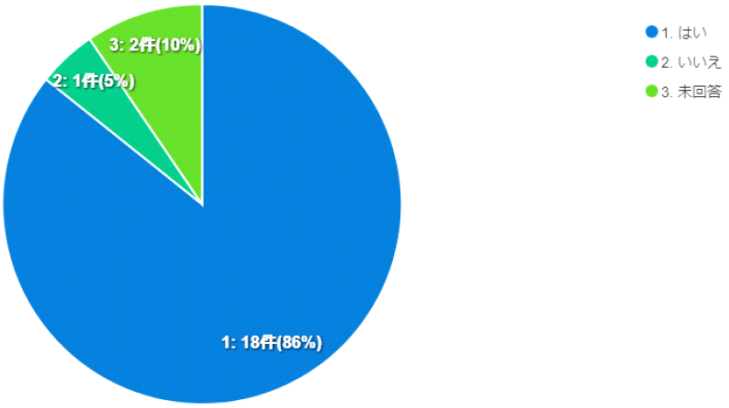
28:select 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容の情報共有と相互理解を図っているか



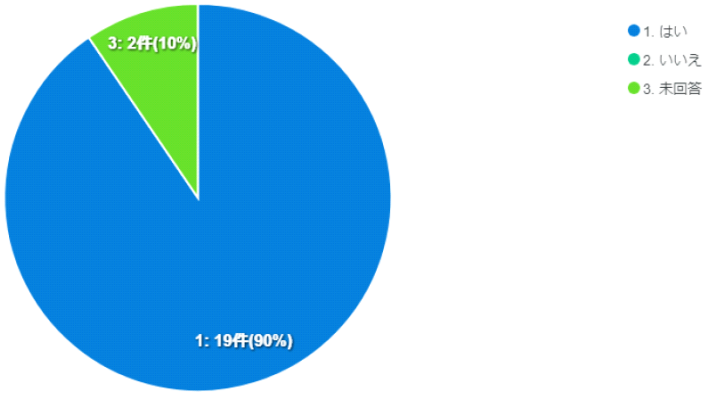
29:select 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか



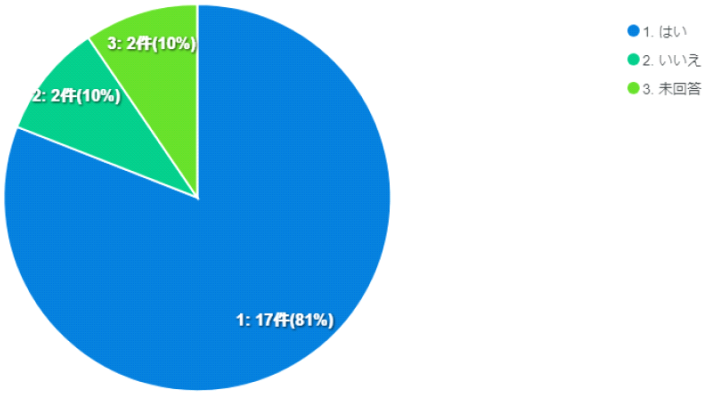
30:select 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか



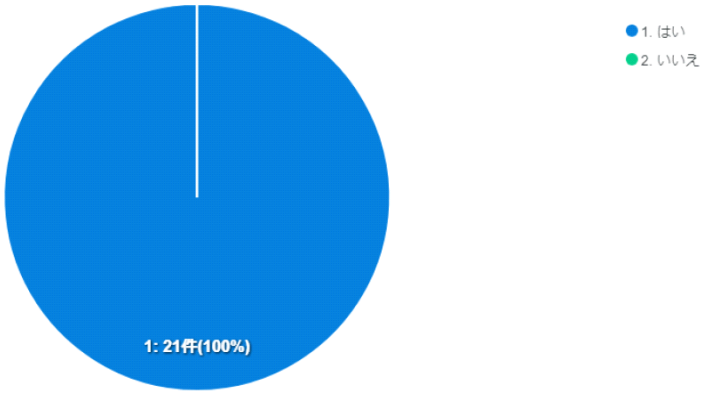
31:select 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか



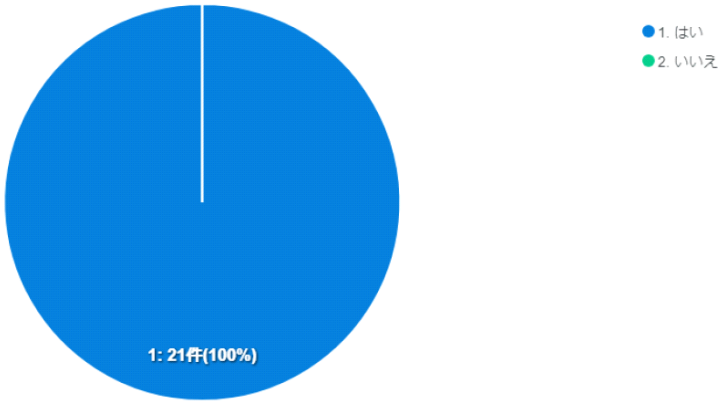
32:select 発達障害者支援地域協議会（乳幼児期部門）や医療的ケア児等支援地域協議会等へ積極的に参加しているか



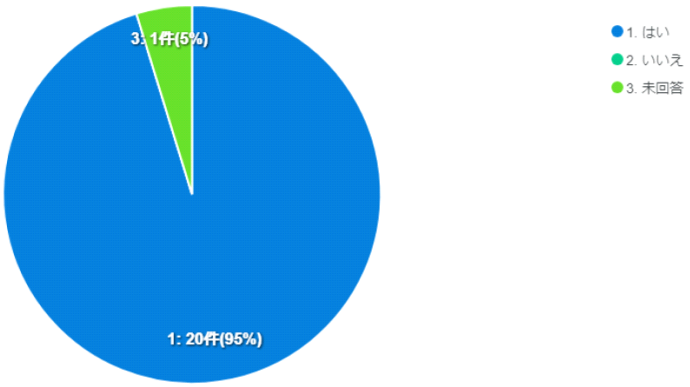
33:select 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会があるか



34:select　日ごろから子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか



35:select　家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（親子ムーブメント・ぽかぽかタイム等）家族等の参加できる研修の機会や情報提供を行っているか

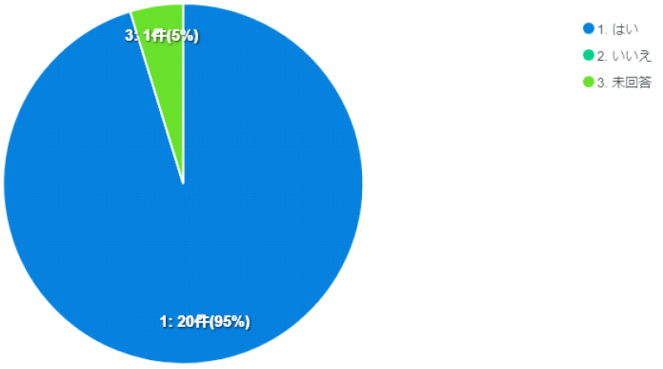


36:text　Q26～Q35の関係機関や保護者との連携に関して、工夫点や課題・改善点をお書きください

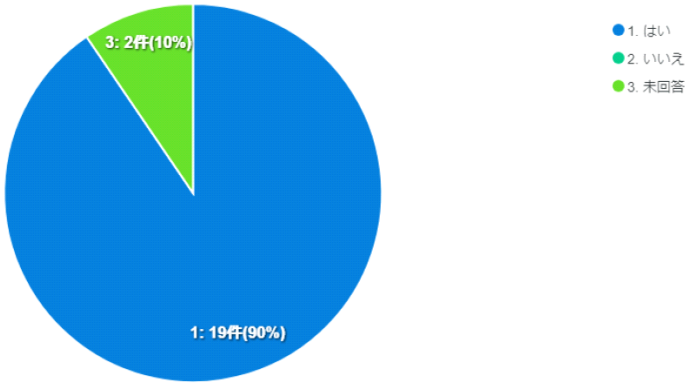
ご意見
保護者とは日常の会話や面談等でコミュニケーションが取れるようにしていた。またセンターについての情報を発信することでより良い関係が持てるよう配慮した。
親子ムーブメント、ぽかぽかタイムなど家族支援の機会を多く設けている
個別交流などで地域の保育所等との連携がある場合や医療受診には、学期毎又は必要に応じて同行している

必要に応じてサービス担当者会議が開催されケースの担当者が出席している。地域の他事業所との連携については、現状ではなかなかすすんでいないと感じている。まずは、通園児が利用している事業所の見学、開催される研修に誘うなど、できるところからすすめていく。
専門的なところはわかってないことが多い。

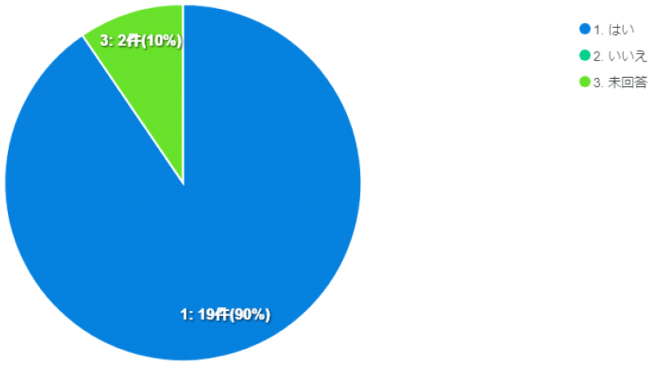
37:select （保護者への説明等について）
運営規程、目標とねらい、利用者負担について丁寧な説明を行っているか



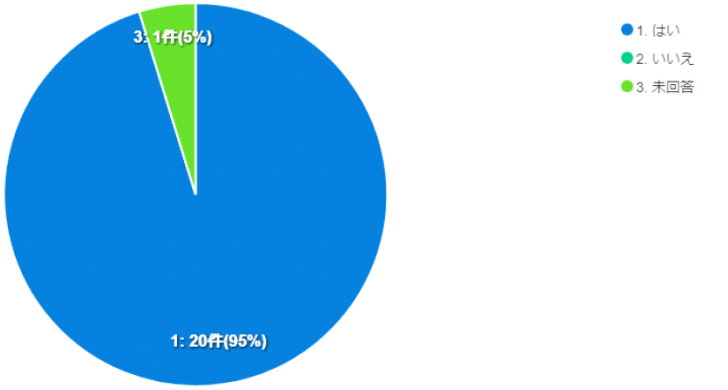
38:select 個別支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか



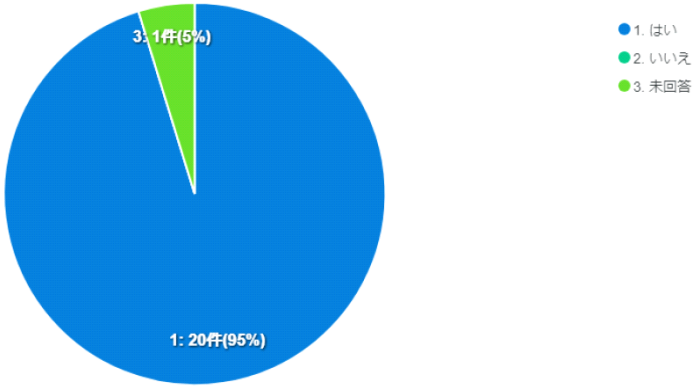
39:select 「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から同意を得ているか



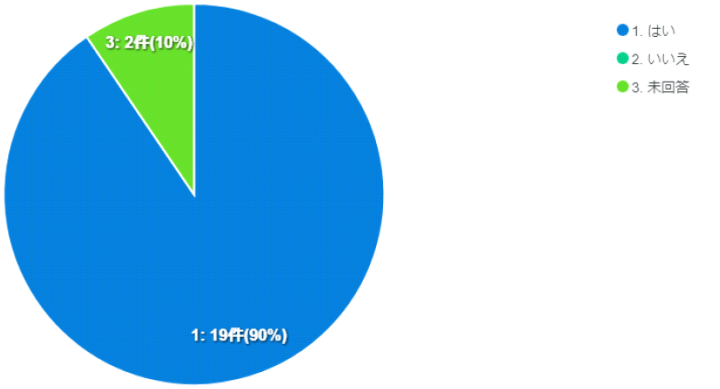
40:select 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか



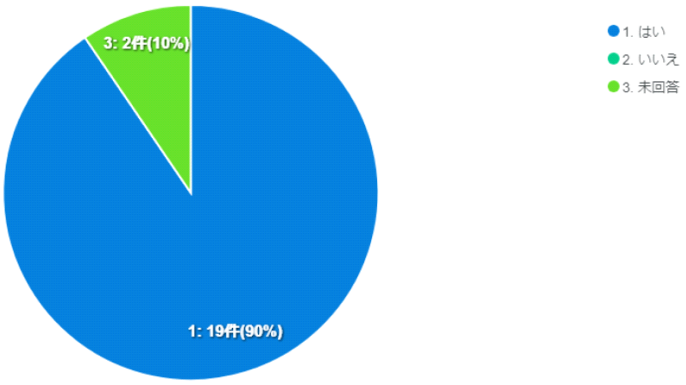
41:select 保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか



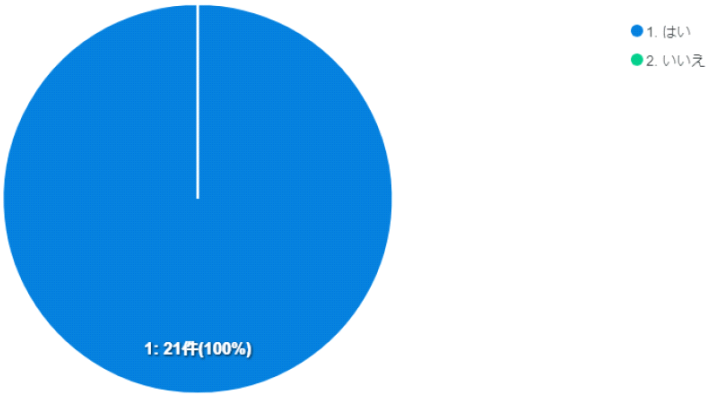
42:select 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか



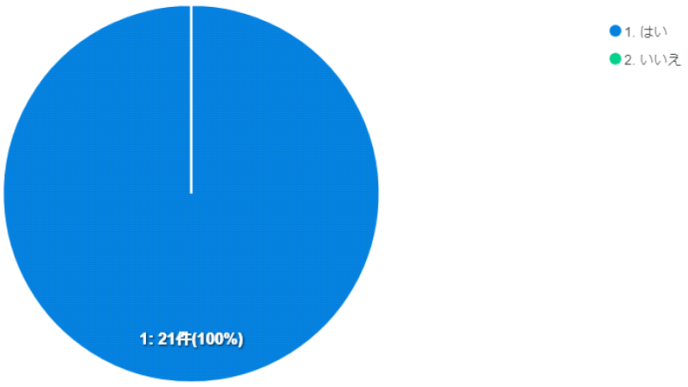
43:select 定期的に通信等を発行することや、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか



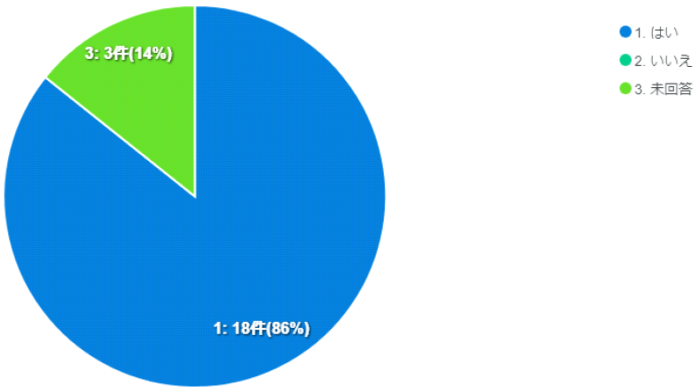
44:select 個人情報の取り扱いに十分配慮しているか



45:select 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか



46:select　さがみはらんど（旧保育ウィーク）等地域に開かれた事業運営を図っているか

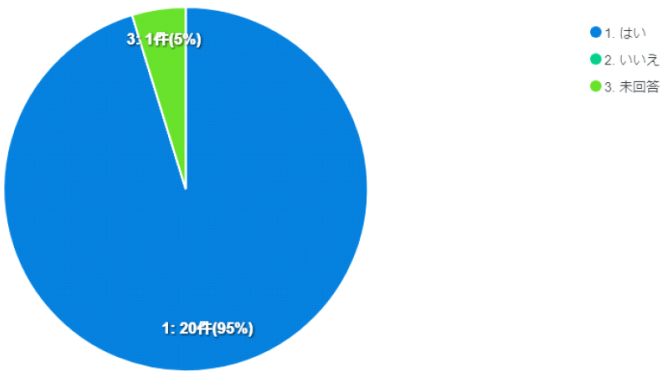


47:text　Q37～Q46の保護者への説明等に関して、工夫点や課題・改善点をお書きください

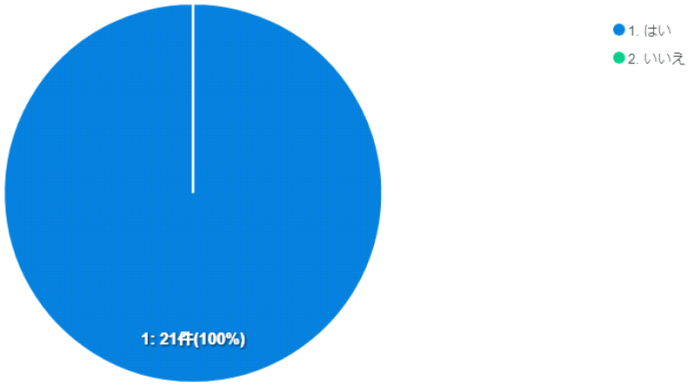
ご意見
ベストなところを探して取り組んでいるが、もっと柔軟にできればと思うことはある。
日頃から話しやすい関係性を築けるように心がけている
支援計画の共有は保護者とはできていますが、お子さんとは十分にできていない現状だと思います。本人も何らかの形で参加する方法を考えていきたいです
懇談会や行事等でセンターの支援について積極的に伝えるように配慮した

（非常時等の対応について）

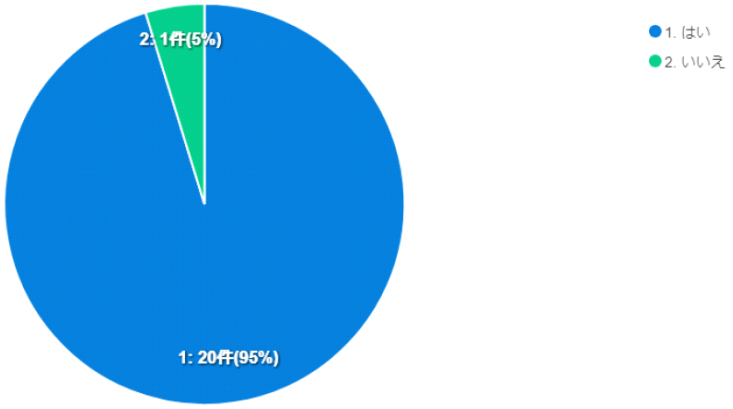
48:select　防災マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等（安全計画に含む）が策定され、発生を想定した訓練を実施しているか



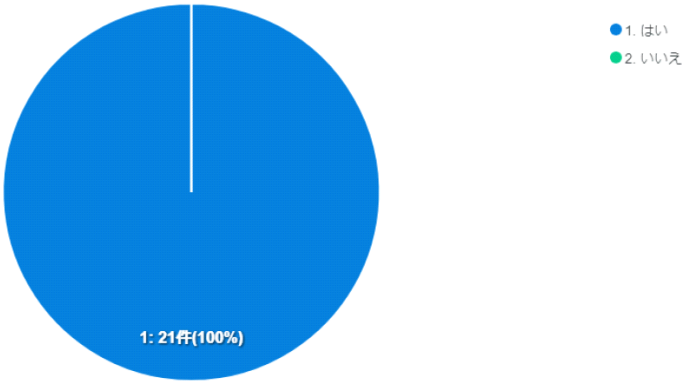
49:select 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか



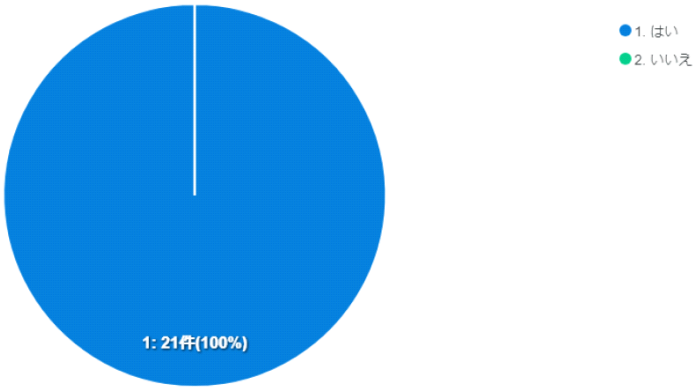
50:select 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか



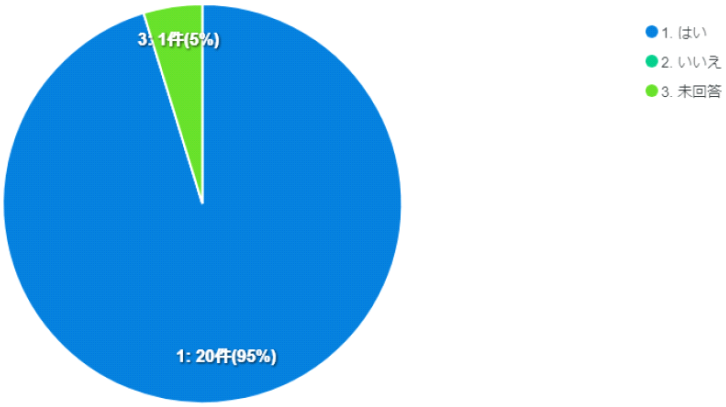
51:select 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか



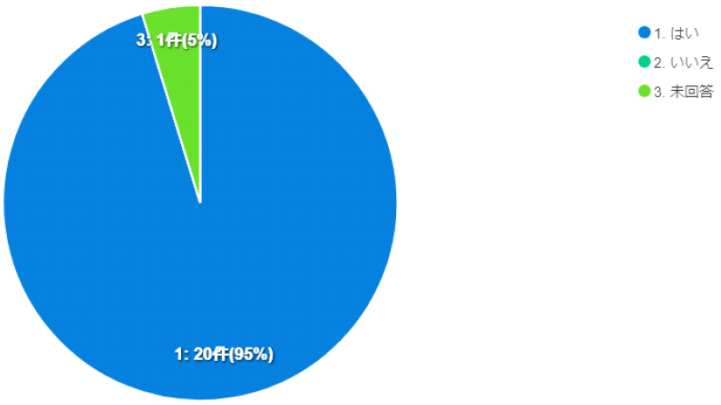
52:select 安全計画を策定し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援がされているか



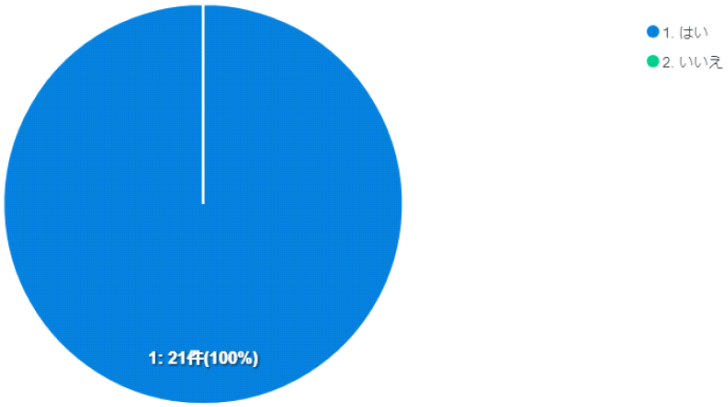
53:select 子どもの安全確保に関して、家族等の連携が図られるよう、安全計画に基づく取り組み内容について、家族等へ周知しているか



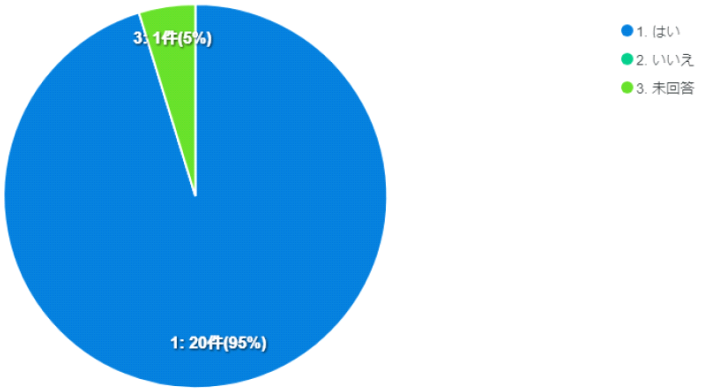
54:select ヒヤリハットをセンター内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか



55:select 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか



56:select どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明して了解を得た上で「緊急やむを得ない身体拘束に関する説明書」に記載しているか



57:text　Q48～Q56の非常時等の対応に関して、工夫点や課題・改善点をお書きください

ご意見
日頃からの安全確認と危機管理意識に努めている
些細なことからヒヤリハットとして共有し、事故のないように努めている
Q51は、予防接種の状況把握は事後が多いし、全て把握はしていない
保育園や支援学校などで防災グッズのひとつである防災頭巾やヘルメットを子どもたちにも用意したほうがいいと思います

回答